

小樽港観光船ターミナル施設概要

令和7年1月

小 樽 市

小樽港観光船ターミナルについて

【外観コンセプト】

屋根を天狗山（街）、石狩湾（海）に軸を取り、街＝歴史、海＝未来と見立て、屋根先端をそれぞれに向かって緩やかにせり上げることで、小樽の歴史に敬意を表しながらも、これからの未来に向かって大きく発展する小樽の姿を表現する。

【色彩計画】

周囲の景観と調和するように、彩度の低い落ち着いた色彩計画とし、周囲に圧迫感、不快感を与えないように配慮し、ベースカラーは無彩色で計画。ただし、無彩色は無機質となる場合があるので、テクスチャー（素材感）や外部照明を工夫し、明るく親しみの持てる色彩とする。

小樽港観光船ターミナル・外観イメージ図



① 観光船運航に必要なとなる機能

- ② 多目的ホール他(2F)

- ### ③ 脱炭素・環境対応

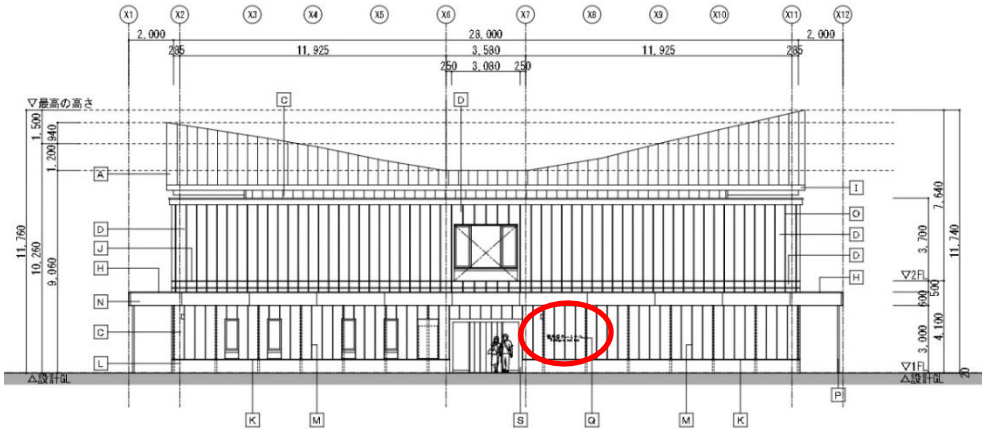
- ## 【観光船ターミナルの規模等】

3

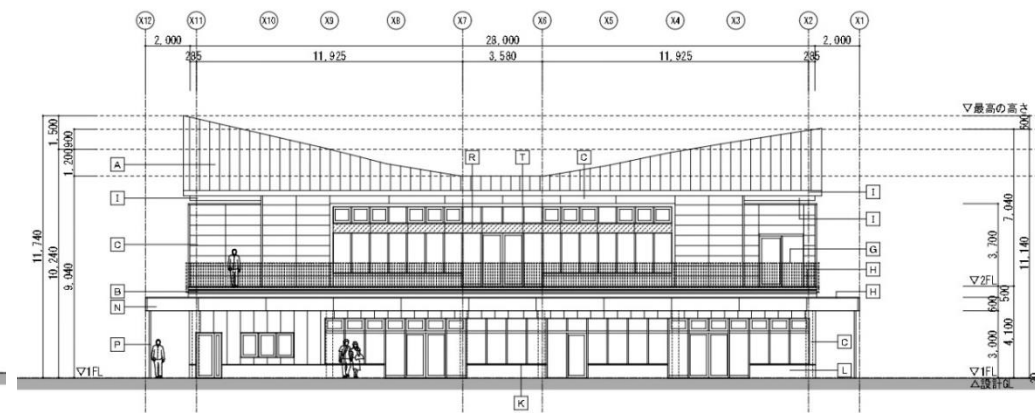
小樽港観光船ターミナル・立面図

○：看板等の設置可能位置

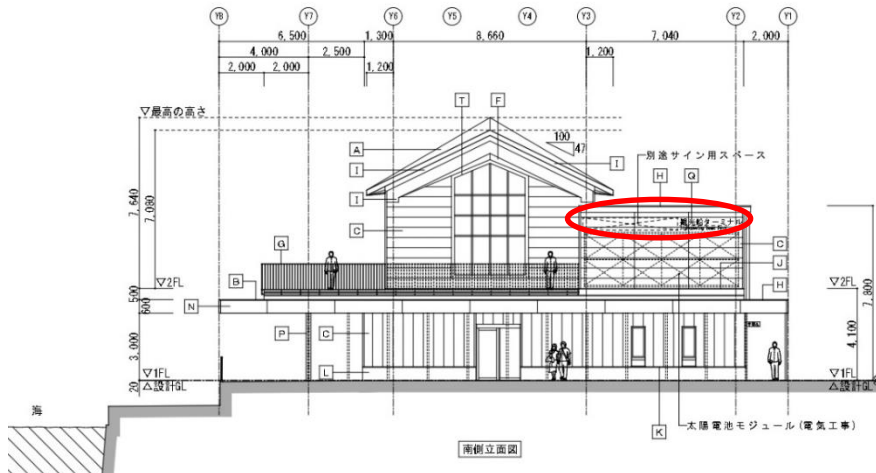
道路側(東側)立面図



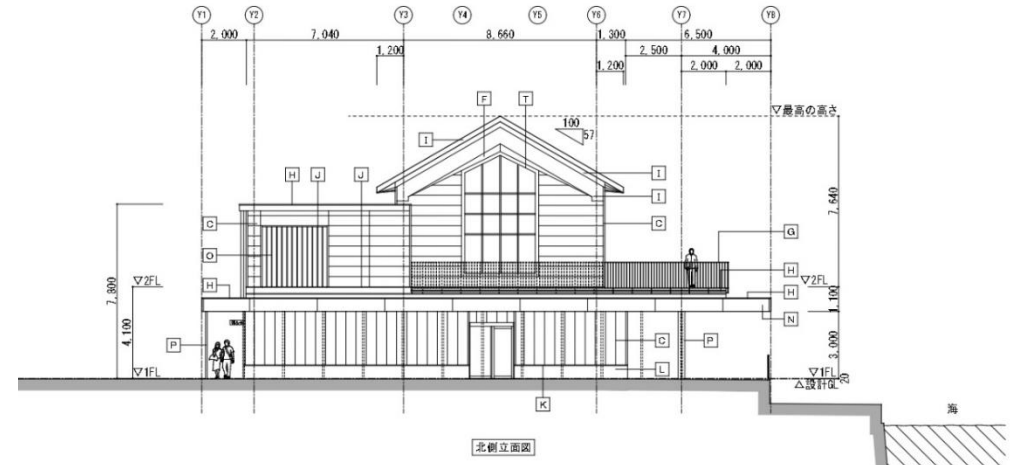
船だまり側(西側)立面図



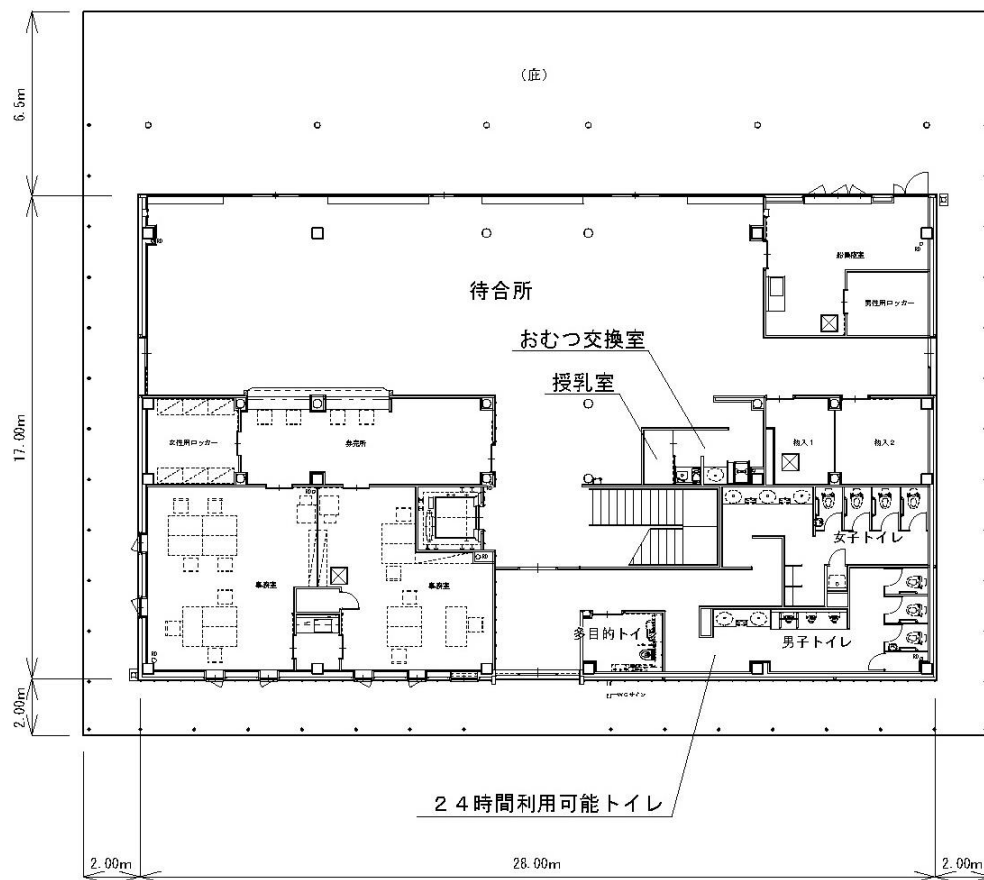
緑地側(南側)立面図



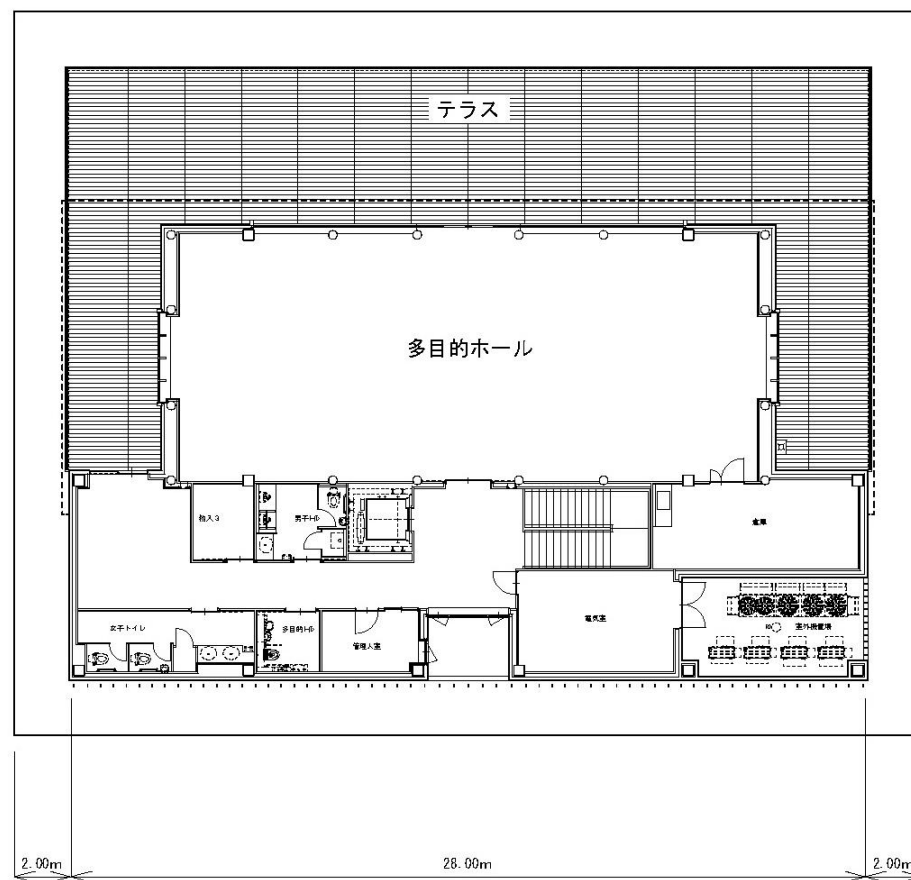
第3号ふ頭側(北側)立面図



小樽港観光船ターミナル配置図
(1 F 平面図)



小樽港観光船ターミナル配置図
(2 F 平面図)



小樽港観光船ターミナル・多目的ホールイメージ図

